

幼児教育学科

科目名: 保育実習Ⅱ				担当教員 氏名: 石津、山本、小川、岡野、宮越、藤井					
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考				
2	2年次 後期	専門科目	実習	選択	保育士資格指定科目(選択必修)				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			保育現場で具体的な実践を通して、保育知識を深め保育技術を高める。						
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード					
保育実習Ⅰ-①での学びを踏まえた上で、保育所における10日間の実習を通して、そこで生活する乳幼児、特に3歳以上児の生活や遊びの姿を理解し、保育の方法や援助について具体的に学ぶ。				・3歳以上児の発達 ・3歳以上児の生活と遊び ・保育の方法 ・保育援助 ・協働					
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動 目標		2. 5. 6. 7. 8. 9. 10					
A 知識・理解力		乳幼児、特に3歳以上児の発達、生活と遊び、人とのかかわり、集団としての育ち等について多面的に理解を深める。							
A 知識・理解力		具体的な保育の方法、保育援助について、保育の計画、実践、観察、記録および自己評価等について実際に取り組むことを通して、総合的に学び理解を深める。							
B 専門的技術									
C 論理的思考力									
D 問題解決力									
F チームワーク・リーダーシップ		保育所内、および、家庭や地域社会との協働・連携について理解を深めると共に、保育士の職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。							
G 倫理観									
H コミュニケーション力									
E 自己管理能力		保育士としての自己の課題を明確化する。							
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	100 %
特記事項:実習先保育所の評価に担当教員の評価を合わせ、総合的に評価する。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①	※実習先保育所のプログラムに沿って実習を行う。								
②									
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									
⑪									
⑫									
⑬									
⑭									
⑮									
使用テキスト:				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									